

会 議 録

会 議 名	令和5年度第3回東松山市地域福祉計画策定委員会・東松山市地域福祉活動計画策定委員会 合同会議					
開 催 日 時	令和6年1月31日（水）			開 会	午前10時00分	
				閉 会	午前11時00分	
開 催 場 所	東松山市市民福祉センター 2階会議室A					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1)市民アンケートについて (2)団体アンケートについて 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0 人		
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
参加者出欠状況	委員長	稲葉一洋	出席	委員	福田千賀雄	出席
	委員	戸森健治	出席	委員	須藤博一	出席
	委員	松永政子	欠席	委員	金杉明	出席
	委員	島野正子	出席	委員	高谷あすか	出席
	委員	奥村一彦	出席	委員	田嶋靖洋	出席
	健康福祉部 次長 高荷和良			社会福祉課 課長 荻野裕		
	社会福祉課副課長 鈴木祐二			社会福祉課主任 岡安睦実		
	東松山市社会福祉協議会 次長 澤井太二郎			東松山市社会福祉協議会 地域福祉課副課長 内藤高子		
東松山市社会福祉協議会 地域福祉課係長 神田満紀子			東松山市社会福祉協議会 地域福祉課副主任 武井さとみ			

	一財) 日本開発構想研究所 都市・地域研究部担当部長 長島有公子	一財) 日本開発構想研究所 研究員 大橋俊平
次 第	顛 末	
1 開 会 荻野課長	<p>皆様、こんにちは。本日は公私とも御多用の中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>只今より東松山市地域福祉計画策定委員会・東松山市地域福祉活動計画策定委員会合同会議を始めさせていただきます。</p> <p>私は、本日司会進行を務めさせていただきます社会福祉課長の荻野と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>なお、この会議につきましては、東松山市情報公開条例により公開となりますが、傍聴者の申し込みがなかったことをご報告申し上げます。</p>	
荻野課長	<p>会議の開催にあたり、稲葉委員長より挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>— 稲葉委員長挨拶 —</p>	
荻野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の出席状況について御報告申し上げます。本日は10名のうち、出席委員数は9名となっております。従いまして、東松山市地域福祉計画策定委員会条例及び地域福祉活動計画策定委員会設置規程第6条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしましたことをご報告申し上げます。</p> <p>次に、本会議の会議録の作成にあたり、出席委員2名に署名をお願いしたいと存じます。名簿順ということで、本日の会議録につきましては、田嶋委員と福田委員をお願いしたいと思います。後日、署名をお願いいたします。</p>	
荻野課長	<p>それでは、議事に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。事務局より説明いたします。</p>	

鈴木副課長	— 事務局（鈴木副課長）説明 —
荻野課長	<p>続きまして「3. 議事」に移らせていただきます。</p> <p>議事につきましては、策定委員会条例により、委員長が議長を務めることになっておりますので、稲葉委員長、お願いいたします。</p> <p>なお、議事録の作成の都合上、御発言の際は、氏名を名乗っていただいてから御発言をお願いいたします。</p> <p>それでは、稲葉委員長、よろしくお願いいたします。</p>
稲葉委員長	<p>それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>本日の議事は2件です。</p> <p>1つは市民アンケートについて2つ目が団体アンケートについてです。まず議事1について事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>（1）市民アンケートについて</p>
鈴木副課長	— 事務局（鈴木副課長）説明 —
稲葉委員長	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>何かご質問等はあるでしょうか。</p>
戸森委員	<p>今日の高等学校進学率はかなり高くなっていますが、日本の義務教育は中学校までです。そのため私は、アンケート調査はわかりやすい言葉で表現すべきだと考えています。中学校までの教育で理解できる表現にすることや、専門的で理解しにくい言葉については説明をつけていただけると助かると思います。</p>
稲葉委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>中学校卒業生なら理解できる内容でという、よく言われることでもあります。改めて申し上げたいと言っておきたいということですね。</p>
福田委員	<p>少し細かい話で大変申し訳ないですが、言葉遣いについて申し上げます。</p> <p>まず1点目、2ページの上段に「1 あなた自身のことについて伺いま</p>

<p>稲葉委員長</p>	<p>す」とあります。5ページでも、また8ページ目の一番上にも「伺います」となっているのですが、14ページだけが「お伺いします」となっているのです。どちらかに統一した方がよいというのが1点目です。</p> <p>2点目ですが、12ページのQ32で「あなたは成年後見制度をご存知ですか」になっているのですが、次のQ33では「知っていますか」になっています。こちらにも統一した方がいいかなと思います。「ご存じ」という表現はQ37、Q38、Q39にもあります。</p> <p>事務局、いかがでしょうか。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>今ご指摘いただいた部分については、統一させていただきたいと思います。まず、1点目については「伺います」で統一します。「ご存じですか」については、「知っていますか」で統一します。</p>
<p>島野委員</p>	<p>このアンケートは、外国籍の方にも配布されるのでしょうか。最近、東松山市内にも外国の方が増えている様に感じます。外国籍の方の意見は反映されないのでしょうか。高校生とかごみの問題とかいろいろ何か問題になっているようですが、その辺はアンケートでは反映されないのでしょうか。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>アンケートは無作為抽出ですので、外国籍の方にも配布される可能性はあります。</p> <p>日本人だから外国人だからというところでの分類はしていません。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>他にございますか。御指摘のところがありましたら、言っただいでアンケートを完成させていくというスタンスで進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>市民アンケート調査票に関しては、これで確定ということでもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは市民アンケートにつきましては、この内容で実施いたします。</p> <p>続きまして、議事2について事務局より説明をお願いいたします。</p>

鈴木副課長	(2) 団体アンケートについて — 事務局（鈴木副課長）説明 —
稲葉委員長	事務局からの説明は終わりました。 何かご質問等はあるでしょうか。
須藤委員	今回の団体ヒアリング対象以外の団体については市民懇話会で話を伺うということですが、市民懇話会はどのように周知したり参加者を募集したりするのでしょうか。
荻野課長	ハートピアまちづくり協議会や、社協支部などに通知する予定です。 併せて広報紙等で周知を図りたいと考えております。
稲葉委員長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
福田委員	言葉遣いについてですが、Q3だけ、「貴団体等」になっているので、統一した方が良いと思います。
荻野課長	「貴団体」に統一をさせていただき、あわせて「等」を削除します。
須藤委員	地区懇話会については、地域の各団体を対象として案内を通知する予定ですか。また、ハートピアまちづくり協議会や各自治会長へも案内を出しますか。民生委員には出さないのですか。
荻野課長	ハートピアまちづくり協議会連絡会には、高齢者団体や民生委員も入っているのです、地域支援課と調整したいと思います。
須藤委員	8団体だけではなく、他の団体にもアンケートを出したらよいのではないのでしょうか。
荻野課長	今回の団体アンケートは、ヒアリング調査を前提とした事前アンケートなので、8団体を対象としています。
須藤委員	もっと幅広い団体にアンケートを出していただきたい。ハートピアま

<p>荻野課長</p>	<p>ちづくり協議会には、まとめて参加できるようであれば出て欲しいという通知だけでは、少し雑ではないですか。</p> <p>須藤委員のご意見については、先ほどもお話をさせていただきましたとおり、ハートピアまちづくり協議会や社協支部などの団体等がございますので、地域懇話会を開催してご意見をいただければと考えています。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>前は団体アンケートの対象がはっきりしなかったというところがありました。今回は対象がはっきり分かりました。アンケートというよりも、市の各担当から障害、高齢、子育て、地域福祉など各分野の代表的な団体を選んでもらい、事例調査を行うということが目的です。そのため、事前アンケートにおいても自由回答を重視しているということです。</p> <p>地域懇話会は市と社会福祉協議会のどちらが実施しますか。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>社会福祉協議会と市とで合同で実施予定です。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>対象を少し広げながらと理解してよいでしょうか。</p>
<p>戸森委員</p>	<p>ヒアリング対象の「チーム東松山」というのはどのような団体ですか。また、なぜ国際交流協会が入っているのでしょうか。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>まず、大きく分けて4つのジャンルの中で、既に前回の策定委員会や計画策定の際もヒアリングを実施している団体は右側の備考欄が空白になっています。</p> <p>しかし、前回のヒアリング対象で既に廃止になっている団体がございますので、新規が改めて入っています。</p> <p>新規の団体は、高齢の分野が「介護支援専門員連絡協議会」で、ケアマネジャーの協議会でございます。</p> <p>子育て分野の「長靴下のぴっぴ食堂」というのは、子ども食堂です。地域福祉分野の「チーム東松山」は、災害ボランティアや生活困窮者への支援をしている団体です。</p>

福田委員	国際交流協会はどのようなことを行っている団体ですか。
荻野課長	外国人の方の日本語教育や相談を実施している団体です。
金杉委員	社会福祉協議会の松山支部では、ふれあい・助け合い事業として、はじめての国際交流コーナーを実施していますが、難しいと実感しています。国際交流を深める形やルール、考え方などを示してほしい。
戸森委員	ヒアリング対象に国際交流協会が入っていることに違和感があります。最近ではベトナム人が多いと思いますが、資源回収などでトラブルがあります。そもそも地域福祉分野なのではないでしょうか。地域福祉分野ならば、もう少し他の団体もあるのではないのでしょうか。
稲葉委員長	外国人がこれだけ増えてくると、どうやって共生していくかが課題になります。行政の縦割りの中では解決できないと思います。
戸森委員	自分の周りではあまり実感がないように感じます。
稲葉委員長	自分の身近に外国籍の人がいるかどうか等で、感じ方は人によってかなり異なると思います。色々な文化やどのくらいの外国籍市民が周囲にいるかによって違います。
島野委員	工業団地の近くには外国籍の方が多くいます。空き家だったところに10人ずつぐらい集まって住んでいます。多くはベトナム人の様です。派遣会社が雇って連れて来ています。今後は、人手不足になるので、外国人がもっと増えるのではないのでしょうか。外国人の方の人口はどれくらいですか。
荻野課長	1月1日現在、市に住民登録された外国籍住民は、約3,000人います。
島野委員	住民登録していない外国人もいると思いますが、それなりに数字はあるということですね。

高谷委員	<p>団体一覧についてですが、公的な団体と民間団体が混在しています。外国人は確かに増えています。どうやって住むための物件を探しているのか疑問です。ある家では、最初に8人住んでいて、その後8人増えて16人で家賃を分担して住んでいたのですが、そのうちの一人が働けなくなると、集団でリンチを行っていた例がありました。外国人コミュニティは今のところ閉鎖的なので、いかに介入するかが課題です。</p>
奥村委員	<p>団体の選択についてはわかりますが、これまで活動された団体が活動できなくなった状態がどの程度あるのかとか、そういったところこれだと把握できないと思います。</p>
稲葉委員長	<p>具体的に何かのところでこうしたらという案がありましたら、具体化しますが、どうでしょうか。</p>
奥村委員	<p>団体全体にアンケートをとって、現状はどうなのかという選択や、民間団体にもっと細かく聞いていくやり方が本当は理想的なのじゃないかなとは個人的には思います。そうしなければ全体像がなかなか見えづらいかないという正直な気持ちはあります。</p>
稲葉委員長	<p>今回は、団体アンケートを実施するという設計になっていません。事例調査という形でいかに成果を出せるかというところです。</p>
奥村委員	<p>介護支援専門員連絡協議会は職能団体です。他のボランティア団体とは異なります。</p> <p>ボランティア団体は組織継続の難しさがあります。その辺がヒアリングの中で確認が取れると良いと思います。</p>
須藤委員	<p>このアンケート調査というのは委託業者が調査対象を抽出し、発送、回収、分析して市に報告するということでしょうか。</p>
荻野課長	<p>個人情報保護の関係等で、対象者を抽出する部分は市が行います。集計・分析は委託業者が行います。</p>
稲葉委員長	<p>対象者の抽出と調査票作成までは市が行い、発送から集計・分析まで</p>

